

2013年9月号

9月15日(日)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 204



## 寒さの夏…

夏の平均気温が20℃を下回る釧路湿原周辺ですが、今年は特に晴れ間が少なく肌寒い日が続きました。9月に入り、久しぶりに気持ちよく晴れたと思ったらすでに雲は高く秋の空。本格的な夏が来ないまま秋を迎え、少し寂しい気分です。

釧路湿原を育む夏の少ない日照時間と低い平均気温。ここに棲む生き物と涼を求めてやってくる観光客にとっては心地のよい夏でした。

～温根内ビジターセンター木道周辺の自然情報～



～温根内ビジターセンター周辺の植物～



【トウヌマゼリ】  
 唐沼芹 セリ科  
 初秋の木道沿いでは一番目立ちます。ドクゼリとの見分けは、葉がポイントです。ヨシ・スゲ湿原とハンノキ林内で多く見られます。



【アキノウナギツカミ】  
 秋鰻搦 タデ科  
 ヨシ・スゲ湿原、ハンノキ林内で見られます。目立たない小さな花は白から薄いピンクで、とても上品な色をしています。



【ウメバチソウ】  
 梅鉢草 ユキノシタ科  
 温根内では秋を代表する花で、ヨシ・スゲ湿原でよく見られます。花をよく見ると髭のようなたくさんの仮雄蕊が見られます。



【コガネギク】  
 黄金菊 キク科  
 変異の多いキク科の多年草です。温根内周辺ではミズゴケ湿原と鶴居軌道跡で見られます。(ミヤマアキノキリンソウ)



【ハンゴンゴウ】  
 反魂草 キク科  
 鶴居軌道跡やビジターセンター周辺で見られます。高さ2m程にもなり、2cm程の黄色い花を多数咲かせます。



【エゾトリカブト】  
 蝦夷烏兜 キンボウゲ科  
 根に猛毒を持つことで有名ですが、烏帽子のような面白い形の青い咲かせます。鶴居軌道跡で見られます。

※温根内木道周辺で咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

\*表紙の写真 上：コヨシキリ 中左：モウセンゴケの花 中右：木道とエゾシカ 下：カラスヘビ (シマヘビの黒化型)

○温根内木道周辺で確認された花（8月15日～9月14日） ※和名は五十音順

■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌホオズキ■イワアカバナ■ウド■ウメバチソウ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾシロネ■エゾナミキ■エゾノコギリソウ■エゾノミツモトソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■エゾリンドウ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオハコベ■オオバセンキュウ■オオヤマサギソウ■オオヨモギ■オトギリソウ■カタバミ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クマバナ■ゲンノショウコ■コウゾリナ■コガネギク■ゴキツル■コムツブツメクサ■サラシナショウマ■サワギキョウ■シオガマギク■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■セリ■タニソバ■チドリケマン■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■ドクゼリ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタコウジュ■ネジバナ■ノブキ■ハナタデ■ハコベ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒヨドリバナ■ヒルガオ■ハラバヒメジョオン■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■マツヨイセンノウ■ミズ■ミソソバ■ミツバベンケイソウ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■モウセンゴケ■ヤブジラミ■ヤブハギ■ヤブマメ■ヤマハハコ■ヨシ■ヨブスマソウ

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

○旅立ちの時

湿原の植物には実が目立ち始め、すっかり秋の装いです。夏鳥たちはというと、間もなく越冬地への長い旅が始まります。生まれ故郷の釧路湿原に戻ってくるのは来年の春。無事に戻ってきてもらいたいですね。



【タンチョウ】  
丹頂 ツル科  
木道周辺には2つがい生息しています。夏は大陸にいると思っている人が多いですが、実は留鳥です。ミズコケ湿原でよく見られます。



【キバシリ】  
木走 キバシリ科  
木の幹をらせんを描くように登り（走り）ながら細長く湾曲した嘴でエサを探します。温根内周辺では鶴居軌道跡でよく見られる留鳥です。



【シジュウカラ】  
四十雀 シジュウカラ科  
温根内に一年中いる留鳥です。今年生まれの幼鳥もしっかりと飛べるようになり、鶴居軌道跡などでよく見られます。



【オオヒシクイ】  
菱食 カモ科  
春と秋の渡りの時期に木道上空を群れて飛んでいるのを見かける旅鳥です。特徴のある「ガハバン」という声で鳴いているのですぐに気が付きます。

○温根内木道周辺で観察された鳥（8月15日～9月14日） ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■オオヒシクイ■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■カッコウ■トビ■オジロワシ■ハイタカ■オオタカ■ノスリ■エゾフクロウ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒガラ■ヒヨドリ■ウグイス■シマエナガ■エソムシクイ■センダイムシクイ■コヨシキリ■コシユウカラ■キバシリ■ノビタキ■コサメビタキ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

☆☆☆自然ふれあい行事「ザリガニウォッチング」が開催されました☆☆☆



8月18日（日）、特定外来生物ウチダザリガニを知るイベントが開催されました。初めにウチダザリガニの脅威と外来生物について学んだ後、ビジターセンターから歩いて5分ほどのところにある温根内川でウチダザリガニ釣りを行いました。釧路湿原ボランティアレンジャーの山岸氏に釣り方のコツなどを教えてもらい、約1時間で29匹のザリガニを釣り上げました。釣ったザリガニは雌雄の見分け方やハサミの大きさなどを観察した後、背ワタを抜いて処分しました。当日は雨が降り、釣るには条件が悪くなかったものの、19名が参加し、ザリガニウォッチングを楽しみました。

☆☆☆自然ふれあい行事「初秋の湿原花ハイク」が開催されました☆☆☆



9月8日(日)、釧路湿原ボランティアレンジャー大西氏の案内で、初秋の湿原花ハイクが開催されました。ツリフネソウの子孫を残すための戦略や、どうして湿原の中でハンノキが10m前後の高さまで生長できるのか、ミソソバの閉鎖花の話など多岐に渡りました。また、温根内木道の周辺の植物が年々変わってきているなど、長年釧路湿原を見続けている大西氏ならではの話も聞けました。降っていた雨もいつの間にか上がり、参加者はウメバチソウやエゾリンドウなど、秋の花も咲き始めた初秋の湿原花ハイクを楽しみました。(参加者：5名)

☆☆☆☆イベントのご案内(10月)事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込みはこちらまで☎0154-65-2323

♪秋の湿原ハイク

〔日時〕10月20日(日)10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター

花が見えなくなったこの時期、秋ならではの釧路湿原の楽しみ方を見つけましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

⇒お申し込みはこちらまで☎015-487-3003

♪バードカービング講座1回目(全5回:10/20、11/17、12/15、1/26、2/16)

〔日時〕10月20日(日)11:00～15:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費・材料費〕4,000円 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

今年は赤い小鳥「ベニマシコ」を制作します。全5回の講座に参加できる方の募集です。

♪散策と絵手紙で楽しむ秋の釧路湿原

〔日時〕10月26日(土)10:00～15:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

サルボ展望台までゆっくり歩き、秋を題材に絵手紙を描いて楽しめます。ヨシ(葦)

でペンを作って描くので、きっと思い出に残る個性的な絵手紙ができるはずです。

～スズメバチにご注意を!～



秋はスズメバチが活発に活動する時期です。木道を歩く際には黒い服装をできるだけ避け、匂いの強い香水も控えるようお願いします。

月刊 温根内通信 No.204

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(夏季繁忙期を除く) 入館無料